

経 済 日 誌

兵庫県

2025年1月～3月

1/15 24年兵庫県の倒産件数 2年連続高水準

帝国データバンク神戸支店によると、24年の県内企業の倒産件数は、前年比7・6%増の541件と2年連続で500件を超えた。負債総額は前年に大型倒産があった関係で同94・2%減の402億8300万円と2年前の水準に戻っている。

1/23 神戸港 輸出入 4年ぶり減

神戸税関が発表した24年の神戸港貿易概況は、輸出・輸入とも前年割れとなり、輸出入総額では前年比1・4%減の12兆425億円と4年ぶりにマイナスとなった。

1/24 神戸市の年平均物価指数 3年連続上昇

総務省が発表した24年平均の神戸市の物価指数（20年＝100、生鮮食品を除く）は、前年比2・7%上昇の107・2となり3年連続で上昇した。

1/31 24年兵庫県転出超過 全国ワースト3位

総務省が発表した24年の住民基本台帳人口移動報告によると、兵庫県は7287人の

転出超過となり、転出超過の40道府県の中で3番目に多かった（前年と同順位）。

1/31 兵庫県 外国人労働者 6・6万人過去最多

兵庫労働局は、県内で働く外国人労働者数が24年10月末時点で前年比15・3%増の6万6165人となり過去最多を更新したと発表した。

1/31 豊岡市 外国人宿泊者 7・8万人過去最多

豊岡市は、24年の外国人延べ宿泊者数が前年比28・6%増の7万8699人で、コロナ禍前の19年を上回り、過去最多を更新したと発表した。市内6地域別では城崎温泉のある地域が6・5万人と約8割を占めた。

2/6 関西財界セミナー 20年ぶりに神戸で開催

2月6日、7日の2日間、神戸市において「第63回関西財界セミナー」が開催された。関西の企業経営者が年一回、一堂に会し、国、地域、企業経営のあり方を議論するもので、神戸市での開催は20年ぶりであった。

2/16 神戸空港 開港19周年 国際化へ

神戸空港は開港19年を迎え、累積搭乗客5千万人を突破、昨年の旅客数は初の350万人超だった。3月20日には国際線発着枠が1日最大120回に拡大、4月18日から国際チャーター便が解禁され、韓国、中国、台湾と40往復が運航される。

2/19 24年県内特殊詐欺 31・9億円過去最悪

兵庫県警によると、県内で24年に確認された特殊詐欺の認知件数は前年比221件増

の1445件で、被害額は同約10億円増の約31億9千万円に上り過去最悪だった。

3/12 県内企業の景況判断「下降」超

神戸財務事務所が県内法人企業景況予測調査によると、1～3月期の全産業の景況判断指数（BSI）は、前期比9・9ポイント悪化の▲11・1と「下降」超となった。仕入れ価格などのコストの上昇が影響した。

3/14 須磨海岸と兵庫運河 自然共生サイト認定

環境省が定める「自然共生サイト」に須磨海岸と兵庫運河の2カ所が認定された。これは23年度に創設された制度で、企業、団体、自治体等によって生物の多様性が保全されている区域を認定するものであり、神戸市内では計5カ所となる。

3/18 県内公示地価 3年連続上昇

国土交通省が発表した1月1日時点の公示地価によると、県全体の平均変動率は住宅地、商業地とも3年連続上昇した。訪日客増加により上昇率トップは城崎町湯島で20・2%だった。

3/18 神戸空港国際化の経済効果 年104億円

ひょうご経済研究所は、神戸空港の国際チャーター便就航に伴う県内への経済波及効果が年間104億2900万円になるとの推計を公表した。チャーター便の搭乗率を80%とし、年間約30万人が来神すると見なして県内での消費額をもとに算出した。